

全シ連ニュース

THE JAPAN SENIOR ENSEMBLES ASSOCIATION

好評だった！ 第1回楽器別交歓会

<当日の概況>

11月7日は天気晴朗だった。10時に市川市文化会館小ホールに102名が集合、ミーティング後、管打楽器（参加53名）弦楽器（38名）鍵盤楽器（11名）に分かれ午前10:30～12:00。午後13:00～15:00の2回練習し、15:00～16:20各々ステージにて発表した。管打は鎌木融先生の指揮で「夏の日の恋」「花は咲く」「アフリカンシンフォニー」、弦は五十嵐淳先生の指揮で「パッフェルベルのカノン」「アイネクライネ1楽章」「北の国から」、鍵盤楽器は斎藤良先生の指揮で「A列車で行こう」「あまちゃんのテーマ」「シルクロードのテーマ」を演奏した。各グループとも日頃のSEでは味わえない、スケールアップした吹奏楽、弦楽合奏、鍵盤合奏になり、演奏する側も聴く側も新鮮なサウンドに感動した。

次回からはオーケストラも加えてほしいという声もあった。終了後はJR本八幡駅前の“あじたろう”で約60名が楽しく会食、懇談した。

<総括>

今回のイベントが皆に好評だったのは当初の楽器別研修会を交歓会に切り替え、演奏を楽しみ合ったことによるものと思われる。それから第1回でもあり、準備を早くからとりかゝり、1月14日の第1回プロジェクト会議以来4回の会議と3回の実行委員会を開き、企画の検討、参加や希望曲のアンケート調査、編曲、パート譜の配布を早めに実施したため、参加者が事前によく練習して、当日はよいサウンドになったことがよかったものと思われる。

第2回は平成30年秋の開催予定。



楽器別交歓会を終えて (管・打楽器グループ)

管・打楽器グループは49名の参加があり、練習会場となった小ホールのステージは楽器や人でいっぱいになりました。今回指導・指揮をしていただきました先生は鎌木融先生でした。オリエンテーションの後予定どおり10時30分から練習が始まりました。課題曲の「夏の日の恋」、「花は咲く」、「アフリカンシンフォニー」と練習したのですが、いずれの曲も演奏していく最初から心地よく感じられ、これは皆さんのが事前に相当練習されてきたのだなと感じました。また、鎌木先生の指揮棒を振る直前に先生自ら呼吸を整え拍を確認して棒を振り始めるさまを見て曲の出だしの大切さを学びました。私はセカンド・クラリネット担当で参加しましたが、左後方から心地よいトランペットのミュート音が聴こえ、右手奥の方からは低音のファゴットやバスクラリネットの音色が聴こえてくると、正にこれはシニアアンサンブルではなくウインドアンサンブル（吹奏楽団）の醍醐味だなと感じました。午後の練習の後15時から各グループの発表となり、管・打楽器グループが最初の発表となりました。私は個人的には「アフリカンシンフォニー」の演奏で一部勘違いがありました。全体的にはメリハリのあるダイナミックなサウンドで演奏を楽しめたと思っております。最後に、鎌木先生の熱意のこもったご指導、有り難うございました。

レポート：船橋シニアアンサンブル 高萩良郎